

令和6年9月吉日

各 位

いわて脳損傷リハビリテーション講習会実行委員会

実行委員長 阿部 深雪

(いわてリハビリテーションセンター脳神経外科医・地域連携室室長)

いわて脳損傷リハビリテーション講習会のご案内について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当実行委員会では、一般社団法人日本損害保険協会様助成事業として今年度2回目の「いわて脳損傷リハビリテーション講習会」を開催いたします。基調講演は「高次脳機能障害支援の課題と対策」と題し、講師は東京慈恵医科大学リハビリテーション科教授 渡邊修先生です。

シンポジウムは「高次脳機能障害について今、自身の立場で考える事～当事者・家族・支援者それぞれの想い～」コーディネーターは医療法人社団帰厚堂南昌病院の公認心理師 長谷川警二先生です。

業務ご多忙の折誠に恐縮ではございますが、ご参加のご案内と共に、周りの皆様にもご周知方々宜しくお願い申し上げます。

記

日 時： 令和6年11月3日(日・祭日) 14:00～16:00まで  
(詳細は同封のチラシの通りです。)

参加方法：チラシ裏にある申し込み方法でお申し込み願います。

お問い合わせ先：いわて脳損傷リハビリテーション実行委員会 事務局  
〒020-0854 岩手県盛岡市中野一丁目1-26  
NPO 法人いわて高次脳機能障害友の会 イーハトーヴ  
TEL：019-652-1137 FAX：019-652-1138



# いわて脳損傷リハビリテーション講習会

《中央会場》

- 日時：令和6年11月3日(日) 14時～16時 (受付13時30分～)  
○ 場所：ホテルニューカーナ 2F

《参加無料》

あるドラマでの一説です。「特別扱いではなくて理解して欲しい。辛いのはできることさえ させてもらえず、可能性を絶たれてしまうこと。周囲の理解が必要。周りの方が正しく理解すれば、大半のことは、解決できる。そういう形で社会の一員として迎えてもらえる場所 そういう場所が必要なんです。」 最近のドラマでは、主人公が高次脳機能障がい者を演じていることが多く、皆さんは高次脳機能障害という障害をどう感じましたでしょうか? 《明日は我が身です》 一緒に考えましょう!!

## 基調講演 《高次脳機能障害支援の課題と対策》

講師 NPO法人日本高次脳機能障害友の会 顧問  
東京慈恵会医科大学附属第三病院  
リハビリテーション科 教授 渡邊 修 先生

## シンポジウム 《高次脳機能障害について、 今、自身の立場で考えること》

### シンポジスト

NPO法人いわて高次脳機能障害友の会イーハトーヴ盛岡地区会員 鈴木 昭彦 氏  
NPO法人いわて高次脳機能障害友の会イーハトーヴ 理事 松田 眞由美 氏  
医療法人社団帰厚堂 南昌病院 作業療法士 吉田 雄吾 氏

### コーディネーター

医療法人社団帰厚堂 南昌病院 公認心理師 長谷川 警二 氏

後援：岩手県・公益財団法人いわてリハビリテーションセンター・医療法人巖心会栃内第二病院・医療法人社団帰厚堂南昌病院・一般財団法人みちのく愛隣協会東八幡平病院・一般社団法人岩手県理学療法士会・一般社団法人岩手県作業療法士会・岩手県言語聴覚士会・岩手県医療ソーシャルワーカー協会・岩手県臨床心理士会・岩手公認心理師協会・岩手リハビリテーション心理研究会・NPO法人日本高次脳機能障害友の会・NPO法人いわて高次脳機能障害友の会イーハトーヴ

《助成：一般社団法人 日本損害保険協会》

主催 いわて脳損傷リハビリテーション講習会実行委員会

申込み・お問い合わせ

NPO法人いわて高次脳機能障害友の会イーハトーヴ

TEL 019-652-1137 FAX 019-652-1138

E:mail Koujinou\_iwate@yahoo.co.jp

お申込みFAX送信票

FAX 019-652-1138

《いわて脳損傷リハビリテーション講習会参加申込書》

盛岡会場

氏名	所属先	住所	○をお付けください
	及び職名	連絡先	
			当事者・家族・医療
			行政・福祉・その他
			当事者・家族・医療
			行政・福祉・その他
			当事者・家族・医療
			行政・福祉・その他
			当事者・家族・医療
			行政・福祉・その他
			当事者・家族・医療
			行政・福祉・その他

↑ 複数でお申込みの場合、代表の方に○をお願いいたします

お申し込み締め切り日 R6年10月25日

備考欄（詳しく聞きたいこと等、ございましたらご記入ください。）

---

---

---

---